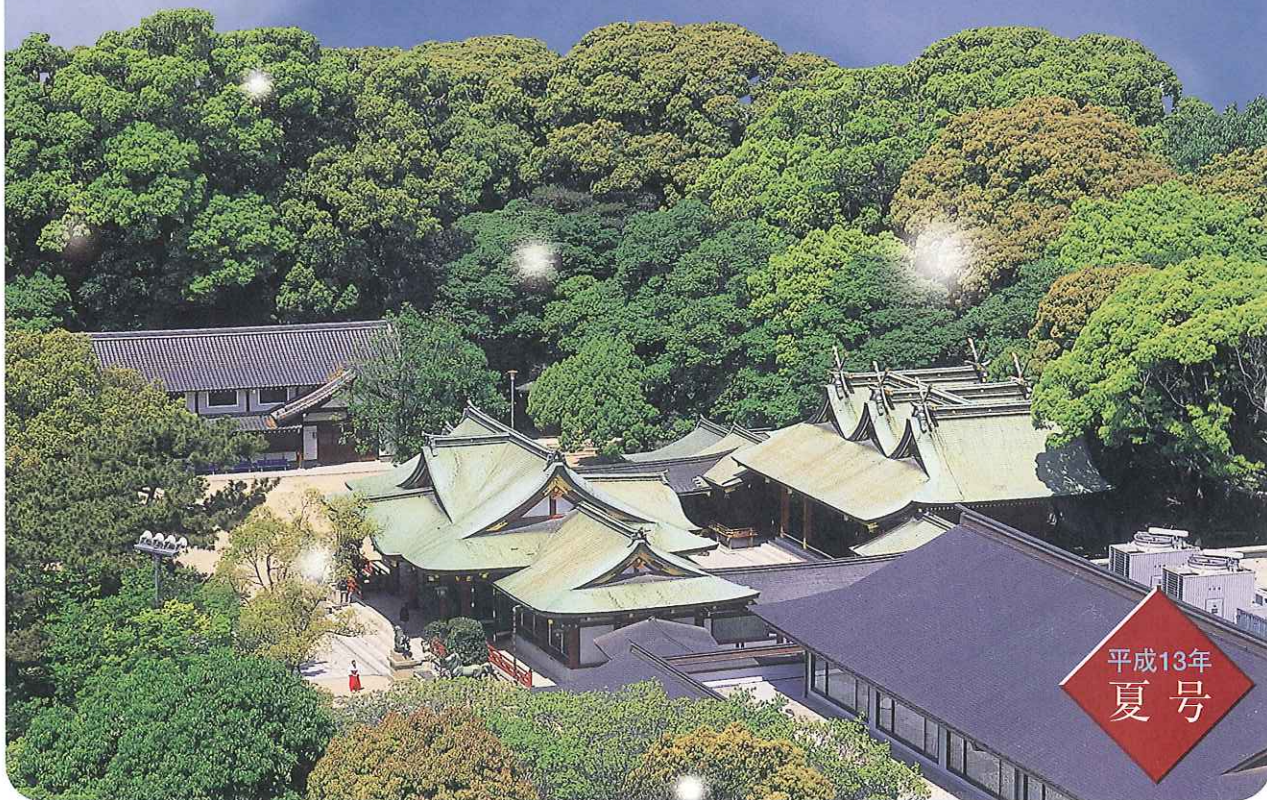
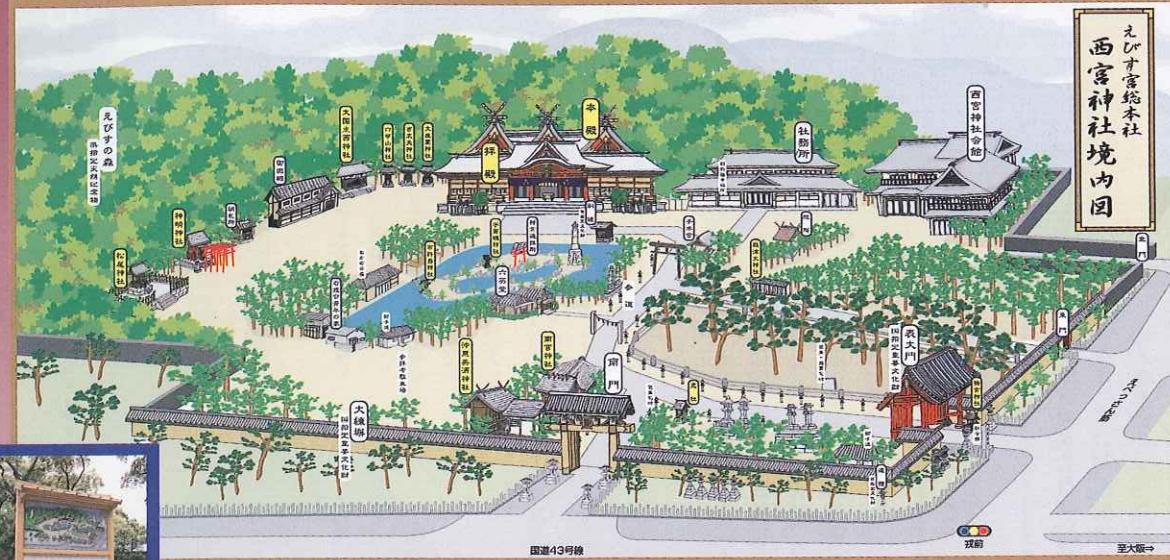


西宮  
えびす



平成13年  
夏号



西宮神社境内図

**TOPICS 境内案内板新設** 3月末、境内駐車場横の参道に境内案内板が設置されました。境内の諸施設の案内絵図に加え御祭神の御神徳と祭礼日も表示されています。

| このやしろ<br>社名           | なでえんじや<br>南宮神社             | うめみやじや<br>梅宮神社                            | おのほろりや<br>沖恵美酒神社           | いづつひらや<br>庭津火神社            | うらたけや<br>宇賀魂神社        | いちのしまや<br>市野島神社            | まつたけや<br>松尾神社                                  | しんめい<br>神明神社     | おほのみこ<br>大國主百神社       | むすねや<br>六甲山神社           | ひらたけや<br>百太夫神社   | かきや<br>火産靈神社     | にしや<br>西宮神社本殿              | 社名                    |                  |             |                       |                       |                            |                            |                                 |                       |                                 |                  |             |  |
|-----------------------|----------------------------|---|----------------------------|----------------------------|-----------------------|----------------------------|--|------------------|-----------------------|-------------------------|------------------|------------------|----------------------------|-----------------------|------------------|-------------|-----------------------|-----------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------------|-----------------------|---------------------------------|------------------|-------------|--|
| 児<br>尊                | 業大市豊<br>山山村五<br>姫島姫<br>神神神 | 酒<br>解<br>神                               | 沖<br>恵<br>美<br>酒<br>大<br>神 | 奥<br>津<br>比<br>女<br>神      | 宇<br>賀<br>魂<br>神      | 市<br>野<br>島<br>神           | 猿<br>住<br>大<br>吉<br>三<br>前<br>彦<br>大<br>命<br>神 | 稲<br>荷<br>神      | 豊<br>受<br>比<br>女<br>神 | (少大<br>延喜<br>式内<br>社) 命 | 菊<br>理<br>姫<br>命 | 火<br>産<br>靈<br>神 | 須<br>佐<br>之<br>男<br>大<br>神 | え<br>び<br>す<br>大<br>神 |                  |             |                       |                       |                            |                            |                                 |                       |                                 |                  |             |  |
| 子<br>供<br>の<br>神<br>様 | 南宮神社の末社                    | 古<br>広<br>田<br>社<br>神<br>社<br>振<br>社<br>の | 醸<br>造<br>繁<br>栄           | 健<br>荒<br>御<br>魂<br>の<br>神 | え<br>び<br>す<br>大<br>神 | 土<br>地<br>鎮<br>め<br>の<br>神 | 諸<br>業<br>繁<br>栄                               | 農<br>業<br>殖<br>産 | 市<br>場<br>繁<br>栄      | 海<br>運<br>守<br>護        | 航<br>海<br>安<br>全 | 醸<br>造<br>繁<br>栄 | 町<br>内<br>安<br>全           | 諸<br>願<br>成<br>就      | 諸<br>業<br>繁<br>栄 | 緑<br>結<br>び | 山<br>の<br>守<br>り<br>神 | 水<br>の<br>守<br>り<br>神 | 子<br>供<br>の<br>守<br>り<br>神 | 芸<br>能<br>の<br>守<br>り<br>神 | 人<br>形<br>採<br>り<br>の<br>祖<br>神 | 火<br>鎮<br>め<br>の<br>神 | 家<br>大<br>商<br>内<br>漁<br>安<br>全 | 大<br>漁<br>満<br>盛 | 御<br>祭<br>神 |  |
|                       | 9月22日                      | 9月22日                                     | 4月3日                       | 7月10日                      | 9月21日                 | 4月9日                       | 6月17日  | 4月2日             | 2月初午日                 | 5月15日                   | 5月6日             | 1月5日             | 8月24日                      | 9月22日                 | 祭日               |             |                       |                       |                            |                            |                                 |                       |                                 |                  |             |  |

**おこしや祭り**

西宮に初夏の訪れを告げる、おこしや祭りが6月14日に斎行されます。別名を苺ひねり祭り、ゆかた祭り、びわ祭りとも呼ばれる季節感あふれるお祭りには是非お参りください。

**編集室から**

日本の自然環境は、四季折々微妙に移り変わることにその特徴があり、日本人の美的感覚の基本にもなっています。このことは世界の宗教施設をみても、教会やモスクなどのあり方と違い、神社が森を背負っているところにその独自性が見出せるのではないのでしょうか。四季折々の神社へお越し下さい。初詣や十日えびすのご参拝の時とは又違う、安らぎの心を自然の内に体感して頂けることと思います。

森の中に歩道をつけて散歩できるようにすれば、というようなご意見も頂くことがあります。神社では自然のままに保全することをまず第一義に受け継ぎながら、渇水期に備えて散水設備を置くなど、保護育成にも努力しています。

(英)

NISHINOMIYA EBISU

西宮  
えびす

西宮えびす平成13年夏号(通巻第15号)  
平成13年6月1日発行  
発行/西宮神社  
〒662-0974  
兵庫県西宮市社家町1-17  
TEL0798-33-0321  
FAX0798-33-5355  
編集/勤務課広報  
印刷/小西印刷所





# えびすの森 木特集

西宮神社宮司

吉井 良隆

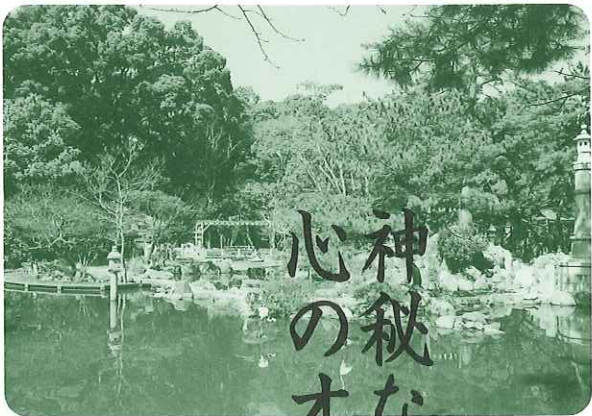


神社を形成するに欠かせない最も重要な条件は、森の存在でしょう。

その背景にはかつて、一木一草にいたるまでそこに神々の存在を認め、崇めてきた古代人の素朴な自然崇拜の思想が宿っているのです。

今、神社の景観ともなった森の中に身を置いた時、そよ風にゆれる草木の葉ずれの音が、古代人の息吹の様に、ささやきとなつて我々の胸に響いてきます。

何を語り、何を訴えようとするのでしょうか。心をなごませる一瞬でもあります。



## 神秘なる森は心のオアシスです……

## 森の歴史

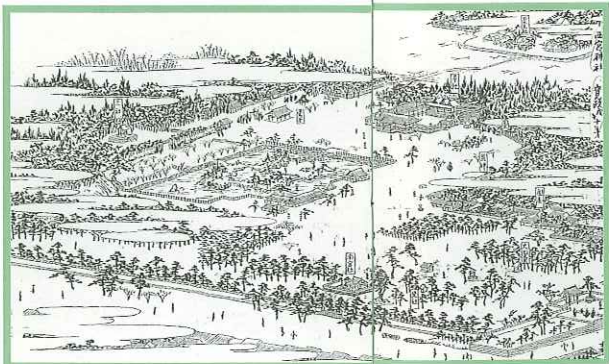
えびすの森がいつ頃から形成されたかは明らかではありません。もちろん神社の創祀と共ににはじまりますから千年以上の昔のことでしょう。当時は海浜近くに鎮座し、海の神として信仰されていましたから、すぐ東の万葉集で有名な津努の松原から続く松



### ◎クスノキ

社殿背後には、兵庫県県木にも指定されているクスノキの大樹が生い茂り森の外容を整えています。樹齢300年を超える周囲約4m 樹高約20mのものが7本、これに次ぐもの数本が大きな枝の拡がりを見せて群生している光景は非常に美しく正に偉観といえます。クスノキの樹皮には昭和20年の空襲で落ちてきた焼夷弾による焼け跡が残っているものもあります。

林であつたでしょう。江戸時代の摂津名所図会の境内にも松樹が主体となつています。台風や松くい虫等の被害で松の太木は少なくなりましたが、社殿の北側と西側に広がる社叢は人の侵入を拒み、自然のままの姿を留めています。楠の大木をはじめ雑木や渚木が繁茂して、原生林の様相を呈しています。



■摂津名所図会・江戸時代

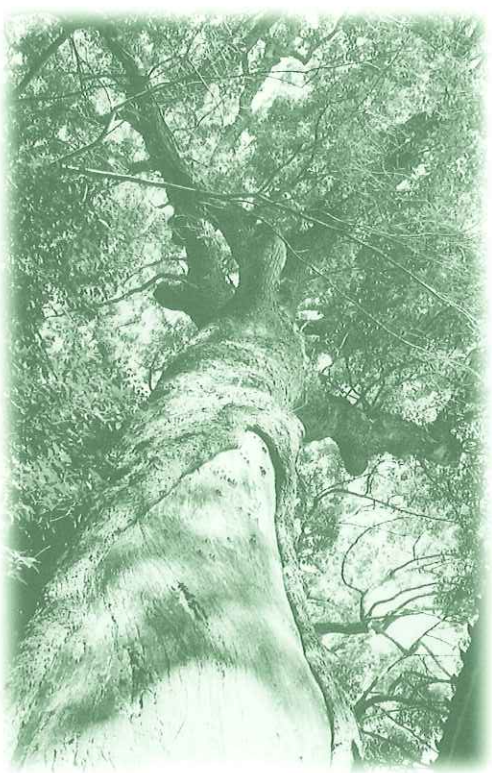
## 森の思い出



■アベマキ

この付近の子供なら誰しもやったことであろうが、学校から帰ると真直ぐに森の中にとんで行き、ドングリ拾いをさかんにやったものである。ドングリといえば、カシ・ナラ・クスノキの実であるが中でもアベマキの実はかなり大きく、コマなどをつかって子供の遊び物としては恰好のものであったから、友達に見せびらかしたりしては自慢したものである。そうすると友達もうらやましいものだから、競って採りに出掛けるといふわけで、次第に森の中に潜り込んで拾う子供が増えていった。中には塀を乗り越えて侵入するもの、木の上に登って落とすものなど、だんだん乱暴になってきて、よく見つかっては怒鳴られ目散に逃げ帰ったものだ。

植の努力もさることながら、枯れ木同然の樹木からも青い芽が吹き出し、昭和36年の本殿復興造営の頃には、もとの姿を蘇らせました。平成7年1月の大震災では構造物は悉く大被害を受けましたが、樹木には全く被害がありませんでした。土地本来の命を守るものは森の木々であり、私達の祖先はふるさとの木々を鎮守の森として残してきました。私達は今一度、神宿る鎮守の森を見直し、日本人の伝統的な自然思想こそが地球人類を救うのだという自覚をもたなければなりません。



■樹齢300年を超えるクスノキ



■西宮大宮神宮

■御神影札

### ◎クロマツ

社殿の南側には、松林の一群が残されており、砂地と共に往時の海岸の面影をよく伝えています。明治末期には、巨松といふべきものが数十本もあったといわれていますが台風や松くい虫の被害をかなり受けています。えびす様の御神影札には松樹が描かれていますがこれは海岸の常緑の木に神様が降臨される信仰を象徴しています。



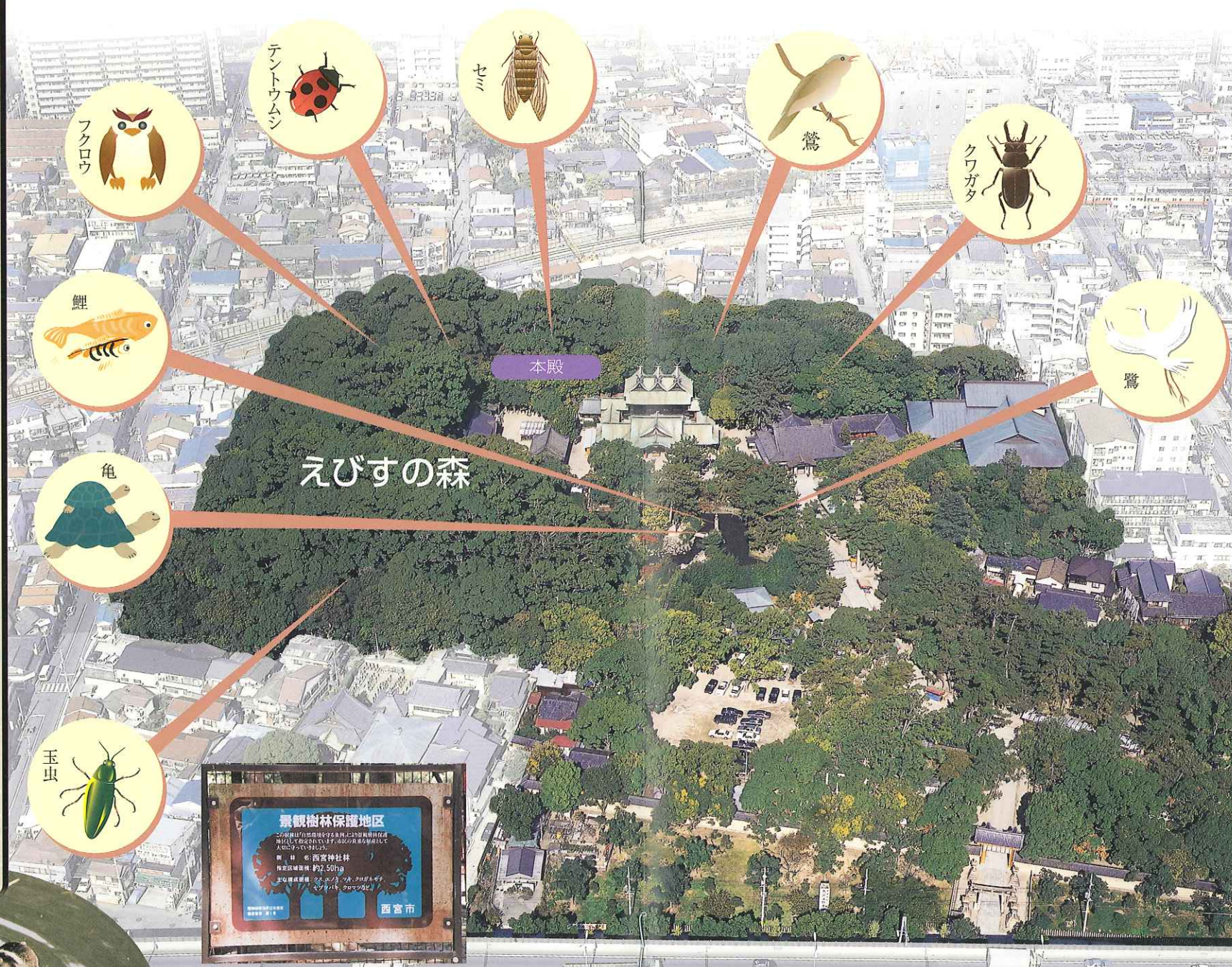
■ジャングルのような森の中

■明治30年代の松林





# えびすの森を語る生きものたち



## 神苑



境内を一步外に出ると、そこは交通激化の国道43号線・阪神高速道路の真前です。わずかに境内をとりまく土塀によって区切られ体面を保っているものの、土塀がなかったら開発の犠牲になっていたかもしれません。この土塀は境内の東側と南側に連なる室町時代に構築された約250mの大練塀で、熱田神宮の信長塀や三十三間堂の太閤塀と共に日本三大塀の一つとされていますが、その中でも最長・最古のものとして国の重要文化財に指定されています。全く土だけで練り上げた分厚い壁は、当時から耐火性を考慮して造られたもので、戦乱や大火から神社を守ってきました。大練塀と国道の間の神苑は大練塀を保護する目的で大正時代に氏子の寄付により境内に加えられ、松と庭石の庭園として整備されています。



神池で誕生した10羽のカルガモのヒナ

**【生息する生きもの】**  
 森の中には、カブトムシやクワガタ、カナブン、タマムシなどが生息し、真夏のクマゼミ・アブラゼミの大合唱から、つくつく法師が鳴きはじめる。赤トンボやうす羽かげろうなどが池辺に秋趣を添えてきます。サギやカルガモ、ウグイス、メジロはときどき訪ねて来、ホトトギスを聞くことさえあります。スズメ・モズ・ハトはまだまだかなりおり、ガラスやトビもやって来ます。夏の夜にフクロウが松の樹間からホウホウと鳴くのも風があります。

**【生息する植物】**  
 えびすの森(西宮神社社叢)昭和36年兵庫県天然記念物に指定社叢樹林には、約300種類類の植物が群生しています。高木層はクスノキ・アベマキ等で、亜高木はヤブツバキ・モッコク等で、低木層や草本層はイヌヒワ・アオキ・ヘニシダ・ハンゲショウ等で構成されています。高木層にアベマキの大木が見られ、二次林的様相を示していますが、亜高木層以下に見られる樹種は、常緑広葉樹林構成種群で構成され、二次林から常緑広葉樹林への変遷末期の群落であると考えられています。大阪湾沿岸の沖積地に発達する典型的な温暖林として学術上の価値は極めて高いがあります。



ハンゲショウ  
 高木のクスノキに対して樹下の湿地には、ドクダミ科の稀有植物ハンゲショウが自生しています。この植物はその名のごとく毎年夏、半夏生(7月初旬)の頃白い穂の姿をしたかわいらしい花をつけて森の地肌を彩っています。





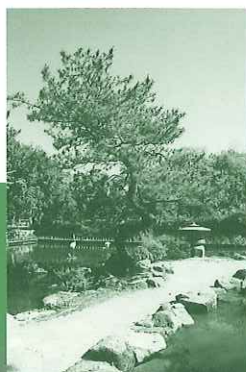
# えびすの木林特集【境内の美空間】

随所に鏤められた「日本の美空間」——（参道松並木）



## 自然

林に溶け込むように造られた参道や神池を歩くにつれ、風景が平面的にも立体的にも移り変わっていきます。表大門を入った参道沿いには、松樹がちょうど御前の浜を連想させる風情を醸し出しています。やがて参道は直角に曲がり社叢の大楠を背景に本殿の春日造の千木が見えて来ます。参道の左手には回遊式の神池があり、池の中央には石積みの小山が築かれ樹木が植えられ自然の雛型を再現、池の中の石組みや灯籠・灯台・石橋などにも時代の息吹が感じられます。池中の鶴の置物つをとつても昔、池畔で飼われていた鶴の中高い鳴き声に夙川尻の回生病院で飼養されていた鶴が呼応していたという悠揚たる情趣が脳裏をかすめます。



## 境内探訪

### 石碑に刻まれた俳句

参道の傍らに句碑が二箇所あります。一つは表大門を入った右側に、天保14年(1843)に伊丹の楯曲卓という人が尽力して西宮・伊丹の同人16名が建立したもので、芭蕉と鬼貫の2句が並べて刻まれています。

春もやや けしきととのふ 月と梅  
によつばりと 秋の空なる 富士の山  
芭蕉 鬼貫



もう一つは南門を入った右側に、平成5年に西宮俳句協会が芭蕉の没三百年を記念して西宮の市花サクラと酒にちなんだ芭蕉の俳句が宮司の筆で四国産の花崗岩に彫り込まれています。

扇にて 酒くむかげや ちる桜  
いづれの句も日本の春秋を見事にうたいあげたもので、四季折々に参詣する人々の心を自然のうちに和ませていることでしょう。

芭蕉

## 祓所玉垣奉納



▲拝殿に整列した選手たち

『阪神タイガース必勝祈願』プロ野球セリーグの開幕を前に阪神タイガース球団が、3月27日恒例の必勝祈願を行いました。「六甲おろし」が流れる中、大勢のファンの出迎えを受けたユニホーム姿の選手が拝殿に整列。



▲玉串を捧げる野村監督

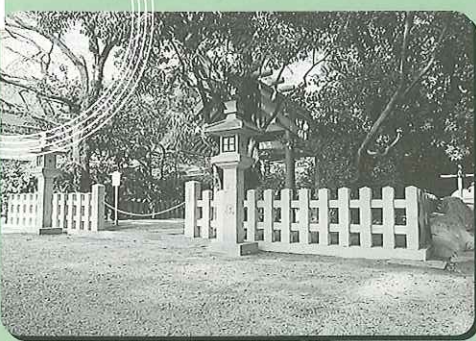
野村監督が玉串を捧げて拝礼。今季にかける気持ちを新たにしました。球団には特製の必勝祈願札が各選手には必勝守りが授与されました。

食品の加工や卸を行なっている戎水産株式会社の上田志つよ氏が、ご主人敬二氏の遺志を受け継ぎ、祓所の玉垣を奉納されました。もともとは西宮浜で宮シヤコの製造をされていた上田氏は、当社を篤く崇敬されており、十日えびすには夫婦お揃いで欠かさず参拝されていました。5月20日に奉納奉告祭が行なわれ、宮司より感謝状と記念品が授与されました。



▲玉垣を奉納された上田志つよ氏

## OPICS



▲新しく奉納された玉垣